



議会だより

2018.2
Vol. 57

ふじかわぐちこ



●このことを決めました2P

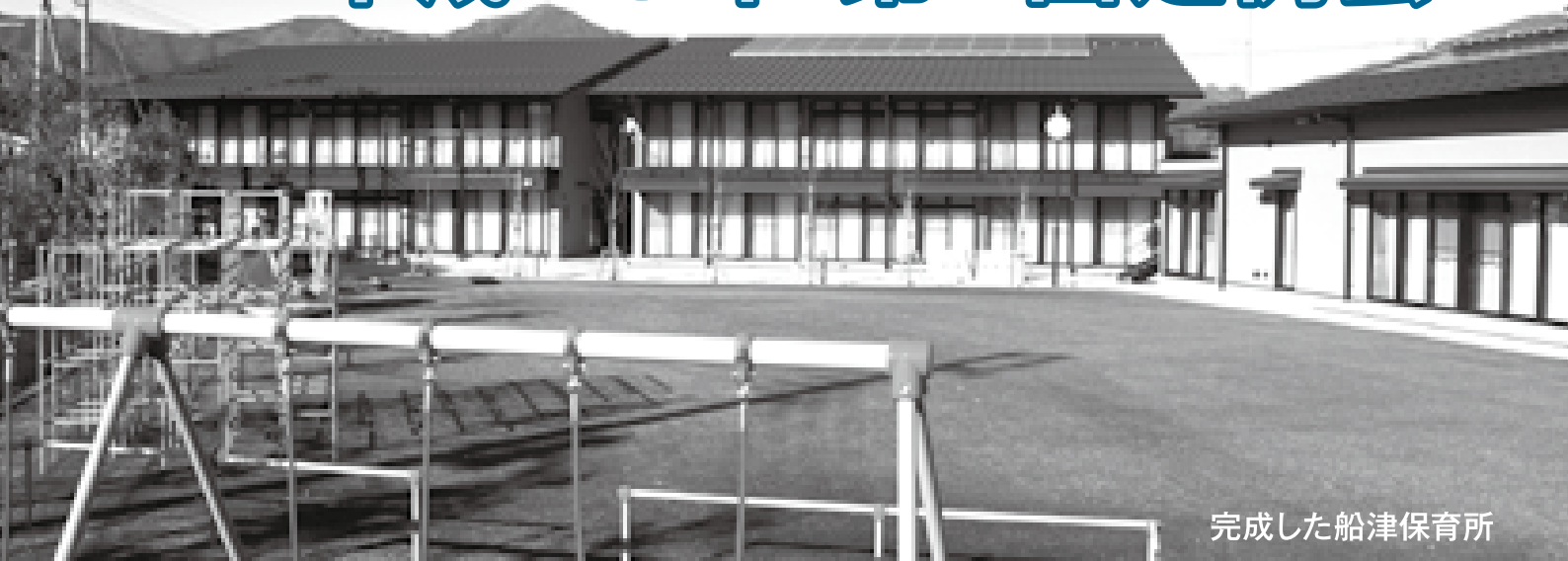
●一般質問4P

●委員会レポート8P

●窓・議会見聞録・編集後記14P

表紙写真:十四日祭礼(大石)

平成29年 第4回定例会



完成した船津保育所

平成29年第4回富士河口湖町議会定例会は12月6日に開会し会期を7日間と決めて12月12日に閉会しました。

本定例会に提出されました議案及び審議結果は、次のとおりです。

条例の一部改正1件、補正予算17件、同意案件3件、指定管理2件を審議し、すべて原案のとおり可決、同意されました。

なお、補正予算案の一部は総務常任委員会、文教社会常任委員会、産経土木常任委員会において各委員会が所管する部分ごとに審議され本会議に報告されたほか、各常任委員会が所管する事務について質疑が行われました。

また、4人の議員から一般質問がありました。詳細は、4～7ページをご覧ください。

条例の制定……………(1件)

1 富士河口湖町職員給与条例の一部を改正する条例の制定

(国及び県の給与に関する勧告等に伴う関係条例の改正)

補正予算……………(17件)

◆平成29年度富士河口湖町一般会計補正予算(第4号)及び(第5号)

歳入歳出予算の総額に、補正予算第4号及び第5号併せて2億3,068万円をそれぞれに追加し、歳入歳出それぞれ124億9,732万円とする。

〈歳入の主なもの〉

- 国庫支出金等……………1,532万円
- 繰入金……………339万円
- 繰越金……………1億9,478万円

〈歳出の主なもの〉

- 後期高齢者医療連合負担金……………3,000万円
- 認定子ども園、事業所内保育施設委託料……………1,700万円
- 子ども医療費助成金……………3,050万円
- 除雪作業委託料……………2,200万円
- 町道舗装工事……………1,100万円
- 河口、勝山小学校補修工事及び備品購入費……………583万円



河口湖とらのご保育園
(事業所内保育施設)

◆その他、特別会計補正予算(13件)及び公営企業会計補正予算(2件)

こういうことを決めました!

同意案件…………… (3件)

◆任期満了等に伴い3件の同意案件が提出され、審議した結果全て同意されました。

行政委員名	地 区	氏 名	備 考
富士河口湖町教育委員会委員	河 口	やま だ ひろゆき 山田 宏行	任 命 同 意
小立財産区管理委員	小 立	わたなべ かつとし 渡邊 勝利	選 任 同 意
小立財産区管理委員	小 立	わたなべ わたる 渡邊 亘	選 任 同 意
小立財産区管理委員	小 立	あいざわ しょうじ 相澤 章司	選 任 同 意
富士河口湖町河口湖治水委員会委員	船 津	い で りょう 井出 亮	選 任 同 意
富士河口湖町河口湖治水委員会委員	小 立	わたなべ かずよし 渡邊 一善	選 任 同 意
富士河口湖町河口湖治水委員会委員	大 石	ほりうち しょうと 堀内 昭登	選 任 同 意
富士河口湖町河口湖治水委員会委員	大 石	ほりうち はるひこ 堀内 春彦	選 任 同 意
富士河口湖町河口湖治水委員会委員	河 口	おお ば しげる 大庭 茂	選 任 同 意
富士河口湖町河口湖治水委員会委員	勝 山	くらさわ しゅう 倉澤 秀	選 任 同 意
富士河口湖町河口湖治水委員会委員	長 浜	み うら よしゆき 三浦 由行	選 任 同 意
富士河口湖町河口湖治水委員会委員	長 浜	み うら かずまさ 三浦 和正	選 任 同 意

町有施設の指定管理者の指定…………… (2件)

管理を行わせる施設の名称	指定管理者として指定する団体 名 称・所在地	指定の期間
富士河口湖町民プール	ブルーアースグループ 甲府市大里町1040番地1	平成30年4月1日から 平成35年3月31日まで
(1) 河口湖美術館 (2) 河口湖ハーブ館 (3) 河口湖ミュージアム (4) 河口湖自然生活館 (5) 大石紬伝統工芸館 (6) 船津胎内フィールドセンター	一般財団法人 富士河口湖ふるさと振興財団 富士河口湖町河口3170番地	平成30年4月1日から 平成35年3月31日まで

平成29年 第2回臨時会

◆平成29年第2回臨時会は12月22日に開会し、次の案件を審議し原案通り可決し、同日閉会しました。

訴えの提起

◆甲府地方裁判所平成28年(行ウ)第9号不同意処分取消請求事件に関し、東京高等裁判所に控訴する。

控訴の当事者

控 訴 人
被控訴人

富士河口湖町
東京都渋谷区神宮前四丁目11番15号
株式会社 HDR

一般質問



一般質問者
中野 貴民

平成30年度 予算編成について

質問 Q 健全な財政運営が、町民の安心に繋がる。平成30年度の予算編成に向けての町長の方針は。

答弁 A 町長 歳入では町税の若干の伸びが見込めるものの、地方交付税は2・5%削減される見込み。歳出では、社会保障制度の費用や町有施設の維持管理費などの経常的経費に加え、総合計画に基づく多岐にわたる事業がある。財源が限られており、全てに取り組むことは困難。教育関係、子育て支援など重点施策に集中し、新たな国県の施策も十分活用した予算編成をする。国の制度も消費税増税に合わせた流動的なものもあるので、平成30年度の予算編成は大変難しいものになると考えている。

一般質問

質問 Q 平成29年度の国の補正予算のメニューを活用して検討している事業などがあるか。

答弁 A 総務課長 1月の通常国会で審議されるものであり、具体的なメニューの提示等はないが、活用できるものがあれば積極的に活用していきたい。

道路の安心安全について

質問 Q 車のすり抜けも難しいような狭い道が町内に多くあり道路の拡幅、新設などが求められている。地権者の協力が無ければできないことだとは思いますが、町としても積極的に働きかけをしようか。

答弁 A 都市整備課長 道路拡幅等については、地権者の同意が無ければ出来ない。限られた予算で実施しているので優先順位をつける場合もあるので、ご理解をいただきたい。

高齢者等の安心安全について

質問 Q 百歳体操で元気な身体を保つことが医療費の軽減や生きがいにつながる。今後新しい展開はあるか。

答弁 A 健康増進課長 現在10団体が活動しており、健康づくりだけでなく住みやすい地域づくりにも繋がっている。今後

も普及に努める。

質問 Q パーキンソン病で苦しめられている方が多くいる。パーキンソン病に対する正しい理解が必要だと思うが。

答弁 A 健康増進課長 関係機関とも連携し、難病に苦しまれている方への負担を軽減できるように取り組んでいく。

観光客の安心安全について

質問 Q 外国人観光客向けの防災対策はどのように進めていくのか。

答弁 A 観光課長 災害時には情報の提供が最も重要。関係機関との連携を図り、外国人観光客向けの防災対策を構築することが必要だと考えている。

質問 Q 外国人観光客が自転車を利用して観光をしている姿を毎日のように見かける。オリンピックではフランスのトライアスロンチームを誘致することで決まっているが、競技自転車の愛好家が集まった場合、事故が起きないか心配している。どのような対応を考えているのか。

答弁 A 政策企画課長 自転車愛好家の多くの皆さんは、知識や意識も高く、自転車です富士河口湖町の魅力を感じてもらうことは大変喜ばしい。今後実施するトライアスロン教室でも交通ルールの遵守を呼びかけたい。



一般質問者
渡辺 武則

町長任期の 2年経過に当たって

質問 Q 町長の任期がちょうど2年経過し、ハーフターンのを迎える。この2年間の自身に対する自己評価と意思を伺う。

答弁 A 町長 この2年間、町民の負託に応えるべく全力で走り続けてきた。東京オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップの事前合宿誘致。高校3年生までの医療費の無料化、保育所の給食費無料化、船津小学校改築工事の実施設計完了等。これらの施策実行をもって、町民より及第点がいただけるのではないかと思う。今後も子育て支援、教育の充実に重き置くとともに、日本を代表する国際観光地を目指して行く。

保育所の完全給食化の推進

質問 Q 保育所の完全給食化を望む声が多く聞かれる。旧河口湖町管内の保育所における、パンとご飯の提供について今後の考えを伺う。

答弁 A 子育て支援課長 完全給食実施の一番の課題は、小立保育所の調理室を拡張することが、非常に困難なことにある。それでも、一歩進めるため、パンの提供について調査検討に入り、平成30年度の予算査定までに、結論を出したいと考えている。

さらなる義務教育への支援

質問 Q 義務教育は無償とは言え、家庭の負担も大きい。少子化対策の観点からも複数の児童がいる家庭に対し、給食費補助等の支援ができないものかと考えるが。

答弁 A 学校教育課長 学校給食法では、施設や人件費を町が負担、給食費は材料費として家庭での負担を基本としている。将来の心身の健康につながる子供の食生活は、みんなで支えていくものだと考えており、国の動向も見ながら今後の支援の一つとして研究していきたいと考えている。

西湖西グラウンド拡張は

質問 Q 西湖西グラウンドの拡張について、辺地計画などに位置づけるべく地区と具体的な協議を進めているが、進捗は。

答弁 A 生涯学習課長 これまでに3回協議をしてきたが、400mトラックの要望は周辺の溶岩地帯の造成が必要であること、また、町全体の公共施設見直し、当事業の費用対効果等、考えると厳しい現状にあるが、町の財政状況や根場民宿の現状、将来性も鑑み具体化に向け協議を進めていきたい。

地域おこし協力隊の今後

質問 Q 精進、本栖地区で活躍してきた地域おこし協力隊2名の任期が平成30年3月で満了する。地区から隊員継続の要望も出されているが、今後の町の考えを伺う。

答弁 A 政策企画課長 新たな地域の要望もあり、本定例会に地域おこし協力隊募集に関わる予算を上程する。新たな隊員と、任期満了後も町に定住してくれる2名の隊員が、連携して地域活性化に取り組めるよう、調整・支援をしていきたい。

一般質問



介護保険料の軽減を

質問 Q

当町の65歳以上の方の介護保険料（基準額）は、平成15年度の年額2

万7900円から現在6万6768円に上昇。平成28年度富士河口湖町介護保険事業特別会計決算によれば、2億2234万円の余剰金がある。この一部を使って介護保険料の軽減を。

答弁 A

健康増進課長 来年度から3年間の第7期介護保険事業計画を、策定委員会を設置して検討中。現状では、介護保険料が300円前後上昇する見込みだが、

過重な負担を回避することを念頭に、指摘の余剰金は基金に積み立てを行い、その一部を取り崩して介護保険料の上昇を抑制する方向で、策定委員会にはかりたい。

一般質問者
山下 利夫



一般質問

小中学校の給食費の無料化を

質問 Q

学校給食費の無料化は、子どもの教育を受ける権利の保障、保護者の経済的支援の強化、多忙な教職員の負担軽減などの観点から有効である。段階的に実施を。

答弁 A

学校教育課長 学校給食法に、食材などは保護者負担と規定がある。また、町の財政の厳しさなどの点から、今後の研究課題とする。

店舗リニューアル補助制度の実施を

質問 Q

店舗リニューアル補助制度は、事業を営んでいる方、事業を始める方を対象に、店舗の改修費用を補助するもの。

宿泊業、飲食業、小売業など、町内の中小企業や小規模事業者への支援強化になる。実施の検討を。

答弁 A

観光課長 ハード整備補助は、一部の事業者に限定的になること、公費を投じる必要性、自由競争のもと自助努力と支援のバランスなどの課題があり、現段階では難しい。

道路沿いの樹木の枝打ちを

質問 Q

船津登山道線沿いに植えられている松の木が信号機などに重なっている場所があり、歩行者や通行する車の安全上問題がある。早急に枝打ちを。

答弁 A

都市整備課長 町道の街路樹は、定期的には枝打ちを実施。船津登山道線は、電線地中化の工事が終わった場所から、一部枝打ちを行う。安全上問題がある場所は早急に対応する。

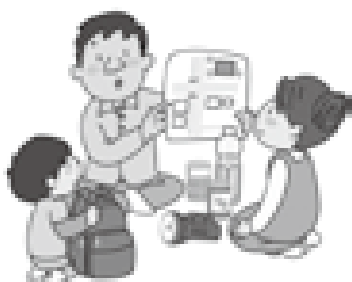
富士山防災の情報の周知を

質問 Q

町全体で富士山災害時の備えや避難方法などを考えていくために、平成29年8月に行われた富士山防災広域避難訓練の内容や教訓、また、町外に避難する場合の避難場所の周知を。

答弁 A

地域防災課長 訓練の内容や教訓を町民のみなさんに周知していく。広域避難の場合の自治会ごとの避難ルート、避難場所などの情報を、各家庭に保存版として配布できるよう準備を進める。



一般質問者
佐藤 安子

未就学児医療費独自助成 への補助金減額措置廃止を 受けて

質問
Q

子供医療費への助成に対し、政府は医療費の増大を招くとして、補助金減額調整措置を続けてきた。2018年度から未就学児までの助成については、減額を廃止することを決め、この見直しによって生じた財源を他の少子化対策に充てるよう指導しているが、当町の状況を伺う。

答弁
A

子育て支援課長 平成28年度決算で、いわゆるペナルティーは約202万円。当町では本年度も実施したが、来年度も多様な保育の受け皿の整備や人材確保の観点から、さらなる保育所の臨時嘱託職員の待遇改善を実施する予定。

定住促進について

質問
Q

新たに整備された小立団地を含む町営住宅の現状と今後の町営住宅整備の考え方を伺う。また、小立団地は、ケーブルテレビを見る環境整備ができていないが、町の防災やその他の情報を知る手段として整備していくべきではないか。

答弁
A

都市整備課長 大嵐団地、富士ヶ嶺地区の定住促進住宅は全室入居。小立団地は、雇用促進住宅入居者14世帯及び北八津団地からの転居者15世帯が入居し、1次2次募集で7世帯が入居。今後の町営住宅の整備については、今のところ検討していない。ケーブルテレビの工事費が約1,500万円と聞いている。入居世帯に、ケーブルテレビへの加入の有無等を調査し、今後の参考にしていきたい。

児童虐待防止の取り組みは

質問
Q

近年児童虐待により、幼い命が奪われる深刻な事態が続いている。当町の児童虐待の現状を伺う。

答弁
A

子育て支援課長 虐待通告としては16世帯。要保護児童対策地域協議会が、家庭への支援対応を行っている。虐待の手前の子育てに不安や悩みをかかえた親の把握と対応状況については、妊娠の届け

出時、母親学級、産婦2週間健診、子どもの1ヶ月から3歳児健診の中で、育児環境や心のことについても聞き取りをしている。

がん対策について

質問
Q

がん対策基本計画ではがん検診の受診率の目標値は50%としているが、我が町の受診率について伺う。

答弁
A

健康増進課長 平成28年度は、肺がん検診37%、肝がん検診37・8%、大腸がん検診36・9%、乳がん検診39・2%、胃がん検診18・8%、子宮がん検診19・9%の受診率となっている。平成29年度に関しては前年度率を上回る見込み。検診クーポンの継続及び各種検診における年齢階層の拡充についても検討していきたい。

女性のための防災の取り組みを

質問
Q

日常生活から防災意識を持つことの重要性をしっかりと学びセミナーやハンドブックの配布の検討をお願いしたい。

答弁
A

地域防災課長 個人の防災意識の高揚を図り、防災・減災につなげたい。女性の視点を考慮した内容や専門的な情報を盛り込んだリーフレットの作成を考えていきたい。



地域説明会の予定は

質問 Q ことし、地域説明会が行われなかったが、今後の予定は。

答弁 A 政策企画課長 町の現状や課題を地域の方々に共有してもらうことや、

地域の抱える課題等について話し合いを行う目的で実施してきたが、実際に年を重ねるごとに、当初の目的と大分かけ離れ、出席者も固定化し、また意見が地域の要望に限られる地区もあった。

現状と課題について、積極的な話し合いができる場の検討を進めていきたい。



質問 Q 情報公開の観点からも開催をしてもらいたいが。

答弁 A 政策企画課長 地区によっては、個別具体的な要望合戦になっているような内容もある。建設的な意見交換につながらなかったという反省を踏まえて、今後開催するかどうかも含めて検討をしていく。

富士山世界文化遺産、ご当地ナンバーの取り組みは

質問 Q 富士山世界文化遺産、ご当地ナンバーの、山梨県側の図柄を人気投票で決めるとのこと。メリット、デメリットの観点から、町として取り組みは。

答弁 A 政策企画課長 ご当地ナンバーとして、県あるいは当町においては北麓地域全体を、全国にPRをしていくという目的を持って行うもの。

町役場、それから各出張所、生涯学習館など9カ所で若干のアンケートと共に投票してもらおう準備を進めてきた。インターネットによる投票もできる。
(1月5日に締切りました)

一候補として出されたデザインー



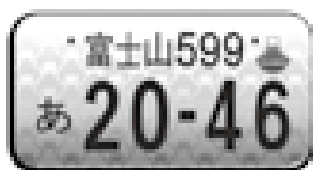
デザイン番号1番
作品名「赤富士から昇る満月」



デザイン番号2番
作品名「山梨版凱風快晴」



デザイン番号3番
作品名「無題」



デザイン番号4番
作品名「世界文化遺産をイメージした富士山ナンバー」



デザイン番号5番
作品名「あかふじ」

消防自動車の視察から

質問 Q 消防自動車を今後入れかえる中で、地域、場所によって車種が違ってくる、その根拠は。

答弁 A 地域防災課長 富士ヶ嶺地区は家々がかなりの距離を置いて点在しているので、1台の車両で約3,000立方以上の消化能力を有するという事で、配備をした。

住宅密集地においては 軽易に移動できて、初期消火の機能を果たせる消防ポンプ自動車の配備を考えている。

質問 Q 町内にある消防車の台数と、今後の更新については。

答弁 A 地域防災課長 現在、当町で合計24台有している。

平成29年度は小立分団へ軽自動車の消防車を配備する予定となっている。また、平成30年度については長浜地区、以降各地区を順次、地元の消防団の意見等を聞きながら更新を進めていきたいと考えている。

質問 Q 走行距離等を見ると、その買いかえの周期を1年半とか2年にしても、十分対応できるのではないかと思うが。

答弁 A 地域防災課長 現状30年を超える車両も出てくるという状況もある。消

防車の実情や状態を踏まえて、古いものから順番に考えている。

町内視察

平成29年11月10日（金）総務常任委員会は、次の現地視察を実施しました。

- 役場駐車場 起震車（体験）
- 太陽電機（株）（小立）
- 上九一色分団消防車両（富士ヶ嶺）
- 泡式消防車両（富士ヶ嶺）



起震車体験

泡式消防車両とは

上九一色分団に配備してある泡式消防車両は、少量の水で高い消火性能を有します。「圧縮空気泡消火装置」を動作させ、水に少量の消火薬剤を加え、圧縮空気を送り込むことにより発泡させ、表面積を広げることで効率よく消化することができます。揚水装置を小型化し、資機材の収納スペースを十分に確保しました。また、車両から筒先までホースを通るのは軽い泡であるため、消火活動中の消防隊員の負担を軽減させる効果もあります。





小中学校の「いじめ」の状況は

質問 Q 現状は安定しているとのことだが、今後アンケート調査の実施計画は。

答弁 A 学校教育課長 いじめの調査は、毎年学期ごとに学校でアンケート調査を行っており、集計を見ながら学校と相談していく。

質問 Q 「いじめ」にこだわらず、何でもいじめの内容で一定の周期で継続的に実施することが必要では。

答弁 A 学校教育課長 いじめの形態については、冷やかしからかい、また悪

口やおどし文句、嫌なことを言われる、また軽くぶつけられたり、遊ぶふりをしてたかれたりとか、仲間はずれ、集団による無視などというようなこともある。今後も細かい点に注意しながら学校と相談していきたい。

湖南中学校の放火事件のその後の経過は

質問 Q 湖南中学校で不法侵入者があり放火された事件があったが、警察でも捜査を進めているようだがその後の経過を伺う。

答弁 A 町長 何者かが職員室に入って、書類へ火をつけたという事件で、当時防犯カメラ等の設置がなく、犯人捜しというのが難しい状況である。対応として警備会社の強化と防犯カメラの設置を行い侵入できない状況をつくり出していきたい。



産後ケアの受診状況は

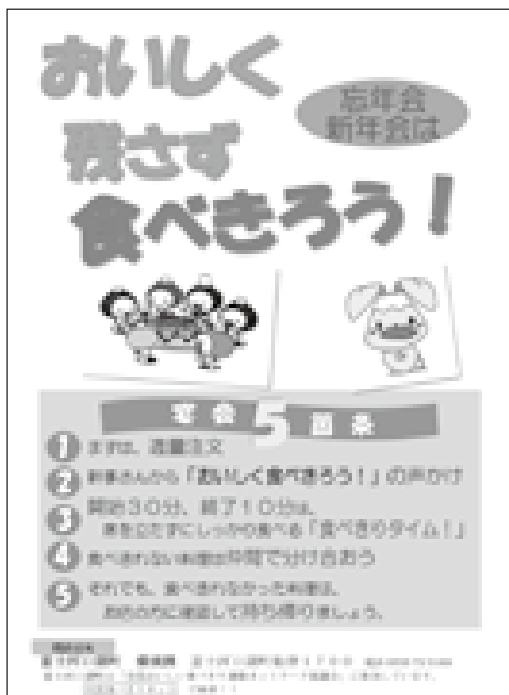
質問 Q 産後ケアの産婦健診を4月から実施しているが受診状況は。

答弁 A 子育て支援課長 現在までおよそ120人、月に15人という状況。

食品ロスについて

質問 Q 食品ロスについては、2010運動ということでチラシもつくり実施しているが、忘年会、新年会シーズンを迎え、啓発活動として何を考えているか。

答弁 A 環境課長 ホームページには、この年末年始に合わせて既に掲載しており、できる範囲内で啓発をしていきたいと考えている。



掲載されたチラシ

町独自の 婚姻届用紙の作成を

質問 Q 市町村独自でおめでとうという意味を含めていろいろ工夫された届出用紙を作っているところはあるが、町のキャラクター「ふじびよん」を入れるなど、町独自の対応は。

答弁 A 住民課長 今のところ考えていないが、住民票などの改ざん防止用紙に「ふじびよん」のすかしをいれる方向で検討している。

携帯電話のリサイクル

質問 Q 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、東京都が携帯電話から金銀銅を回収しメダルにしようというメダルプロジェクトを4月から始めているが、町がこういう取り組みをするというのはいいPRになると思うがどうか。

答弁 A 環境課長 町の公共施設などに専用ボックスを置いて回収したものを認定事業者へ送り、処理してメダルの原材料にするという事業。当町も鳴沢村とフランスのトリアスロンチームのホストタウンとして締結しているので、鳴沢村とも相談しながら検討していきたい。

国民健康保険の 納付金額の試算結果は

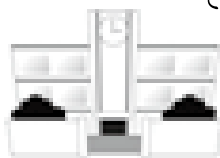
質問 Q 来年4月より国民健康保険が県単位となり、財政運営の主体が県に移ることが決まっている。県が算出した町への納付金額により保険料が決まる仕組みであるが、今年度の試算状況は。

答弁 A 住民課長 平成29年度の納付金の試算結果は、本町においては現行制度による平成27年度の1人当たりの納付金額は、13万9,233円、平成29年度の納付金額は13万2,999円の試算結果となった。

船津小学校 建設委員会について

質問 Q 船津小学校建設委員会の設置予定は。

答弁 A 町長 検討委員会を6回開催し、学校の規模、配置等細部に渡り検討をしており、建設委員会の設置は考えていない。



町内視察

平成29年11月9日（木）文教社会常任委員会は、次の現地視察を実施しました。

- 船津放課後児童クラブ（船津）
- 小立放課後児童クラブ（小立）
- 勝山放課後児童クラブ（勝山）



船津放課後児童クラブ

放課後クラブの状況

	船 津	小 立	勝 山
実施場所	船津地区公民館	小立こども館	勝山児童館
クラブ数	3	1	1
登録人数	152人	81人	79人
利用数(月平均)	68人	55人	37人



節水の進んできた 大型宿泊施設

質問 Q 下水道事業特別会計補正予算の歳入において、使用料1、696万円の減額だが、その要素として考えられることは？

答弁 A 水道課長 大型ホテル等の支払額の多い上位10社の使用料が減っている。理由はおそらくトイレ等で節水器具を設置しているから。また、宿泊客は増えているが外国人客は風呂ではなくシャワー等を使っている。



「やまなしジビエ」 としての今後

質問 Q 「やまなしジビエ」として精進湖のジビエ処理加工施設が認定を受けたが、町として今後どのような対応を考えているのか？

答弁 A 農林課長 この制度は鹿のブランド化を目的に県ジビエ認証会議によって創設された。施設や個体に対しての安心・安全を目指し、食べやすいジビエの普及を目的としている。当町では毎年100頭ずつ処理されており現在、需要と供給は安定している。後継者としては、移住者が1人、ほかに地域おこし協力隊員の1人が学んでいきたいとのことで期待を寄せている。

実験農場の成果と状況

質問 Q 実験農場の成果と状況は？

答弁 A 農林課長 農地環境を考えると土壌改良がポイント。普及センターの先生の指導のもと、地元農林畜産物生産組合に依頼して作付けを行い、収穫された野菜は生産組合直売所で販売している。ブランド化できるものは大根。きめが細かく評価が高い。また、タラノメ、今年からジャン

ボニンク。河口湖レタスは、降雨量の関係で多少収穫が変わってきている。寒さに強い農作物がつけられるよう実験を行っている。また、今年度予算化された栗。その後はクルミも考えている。

外国人客に対応する ネイチャーガイド

質問 Q ネイチャーガイドの英語での案内と
いうのはどういう状況になっているのか？

答弁 A 観光課長 外国語で対応するネイチャーガイドは、有償でガイドをする場合、国家資格が必要。一方、通訳案内士法の規制緩和により、ガイドの資格に関することが緩和されていく情報もある。今後、そういった状況を見つつ、検討していく。

扇崎道路工事の進捗状況

質問 Q 県の扇崎道路工事だが、大雨による増水の影響は？

答弁 A 都市整備課長 完成は年度内を目指していたが、工法を変えて進めることとなり、5月中をめどに今年度分を完成したいということを県から聞いている。

登山道線のごみ集積場

質問 Q 電線の地中化が進んでいる登山道線の歩道に3ヶ所か4ヶ所のごみ集積場があるが、景観上考えてほしい。

答弁 A 町長 基本的に、ごみの収集は自治会のほうでステーション等の設置をお願いしている。せっかく大きな資本投資をして電線地中化による景観を保つ工事を行っているので、集積場は脇道のほうへ移動ができればいい。

水道料金の値上げに関して

質問 Q 上水道料金は、4月から何パーセント上げたか。

答弁 A 水道課長 財政の健全化と、給水原価と供給単価の差額の是正、耐震化の必要性ということで、約30%程度を平成28年6月に上げさせていただいた。

質問 Q 次は水道課としては、何年後に何パーセント上げる予定か。

答弁 A 水道課長 平成31年度の改定は30%を予定している。

質問 Q 今現状で船津、小立、勝山、全体で何%ぐらい漏っているのか。

答弁 A 水道課長 有収率（町が配水する水量に対して、お金をいただいた水量の割合）でいうと、平成28年度、船津地区

が62・9%、小立地区が68・6%、勝山地区が71・3%で、上水道全体としては65・7%である。

質問 Q 平成31年度にまた30%値上げ。住民に説明しなくてはならないが、どんなふうに考えているか。

答弁 A 水道課長 これから平成34年までにどんな工事が必要か、いくらお金がかかるか、どれだけ料金を上げなければならぬかを、コンサルに委託して調査中。それから水道運営審議会で審議いただき、その後説明会を進めていく。

質問 Q この件に関して、町長の所信を伺う。

答弁 A 町長 水道の現状は、有収水量で考えると電気料を100円かけて60円しか上がってこない。これを何とか80以上、90に持つていくには、管の布設替えをしなければならぬ。しかし、現在の料金体制では、町全域での敷設替えは無理で、管の維持費さえも上がってこない。一般会計でと言われるが、特別会計本来の趣旨からいって、権益享受をする町民が負担するのが大前提である。財産区にも頼れない状況で、独自会計で解決するには、どうしても料金改定で増額をお願いするしか道はない。

当然、下水道も同じ。当初の供用開始の

時点で上水道が32円34円のため、本来70円80円という状況であったが50円程で供用開始し、その状況が現在につながっている。

また、下水道法によって定められている受益者負担金が、当初住民の反対で設定できなかった。本来、これで設備投資をし、使用料は維持管理費へ使うのだが、今は使用料で管を繋いでいる。よって、受益者負担金に替わり使用料の増額アップを図っていかなければいけない。

こういう料金の上昇幅が町民から納得が得られるかを、今コンサルにかけている。今までの当町の上下水道の歴史等を鑑みた中での最低限のリミットが出てくるのではないか。それをもとに、町民の理解を求めていきたい。

町内視察

平成29年11月13日（月）産経土木常任委員会は、次の現地視察を実施しました。

- 船津配水池（船津）
- 河口湖駅前案内所（船津）
- 観光連盟事務所（河口）
- 紅葉まつり会場（河口）
- 河口湖自然生活館（大石）
- 下水道工事現場（大石）

「歩きませんか 感じるままに」

地域の自然や文化を歩きながら楽しむ英国発祥の「フットパス」。四季折々の風景や地域の歴史、地元の食をゆつくりと自分のペースで楽しめます。私は精進湖でフットパスに取り組んでいます。なぜ精進湖でフットパスに取り組んでいるかと言うと、精進湖は同じ町内の河口湖とはかけ離れた、観光地化されていない、昔からの風景、手付かずの自然がそのまま残っているとても素朴なエリアです。そんな素敵な場所で、ありのままを維持した観光に取り組んでいきたいと思ったのが、フットパスを始めたきっかけです。

去年の夏から、精進湖のフットパスコース作りを始めました。植物や昔からの風景、春夏秋冬、季節感を感じてもらえるようなコースを考案しました。また、これまで北海道や関東、県内のお客様を招き数回フットパスイベントも行いました。

フットパス活動を通してわかったことは、参加者は地域との触れ合いにとても喜びを感じていること。そして、歩くだけでなく地域の食や歴史を



楽しんでいただき、「季節ごとに来て歩きたい」という参加者からのとても嬉しい言葉を多くいただいています。

現在はマップの作成、コース道標の設置に取り組んでいます。完成したマップは町内の宿泊所や店舗で販売し、精進湖での過ごし方の1つとして地域を歩くことの楽しさを提案していきたいと思っています。皆さんもフットパスを歩き、精進湖の魅力を感じてみませんか？

議会 見・聞・録

本栖区より、今年度で任期が終わる「地域おこし協力隊の継続の要望書」を出させて頂いた経緯もあり、今回、初めて議会の傍聴させて頂きました。地区の要望を町議会議員が議会で発言して下さいましたが、町政がどのように進んでいくのか、地区の要望がどのように町役場に届くのか、実際にこの目で見て、雰囲気を感じられたことは、これからの町政との関わり方を変える大きな1歩となったように思えます。

また、個人的な意見ですが、議会ってなんでこんなに堅苦し

い雰囲気なのか、行政と議員が真正面から対峙するように座る体制は、対決しているようにしか見えませんでした。議論をするのと戦うのは違うと思いますし、もう少し丸くなって話している体勢ですと、町民も気軽に議会の傍聴に訪れやすいのかなと思いました。

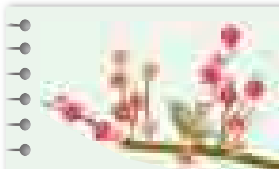
今回、初めての議会傍聴でしたが、住民として町政を応援し、行政、町民、全員一丸となって、「富士河口湖町の未来」を創っていただけたらと、一町民として思いました。

(本栖区 渡辺浩司)

議会を傍聴しませんか？

次の定例会は3月です

どなたでも傍聴できます。
議場入口で受付を済ませ傍聴してください。
入口には注意事項が掲示されています。



● 議会広報常任委員会
委員長 渡辺 美雄
副委員長 渡辺 英之
委員 古屋 幹吉
本庄 久
半田 幸久
外川 満
渡辺 武則
小佐野 快
梶原 義美

新人委員も多く、町民の皆様に興味を持って頂けるよう努力してまいります。議会の傍聴に来ていただけるような内容も検討しているところです。

皆様からの、ご意見、ご要望をお寄せください。皆様に開かれた議会をめざしてまいります。

(渡辺 英之)

平成30年、新たな気持ちで今年もスタートしました。本年も宜しくお願い致します。

今年最初の議会だよりで、改選後初めての定例会の内容をお届けいたします。

編集後記

議会だより
ふじかわぐち 2018.2 vol.57

発行：富士河口湖町議会 編集：議会広報常任委員会
〒401-0392 富士河口湖町船津1700 TEL 0555-72-3167